

日本ピア・サポート学会

第14回「総会・研究（埼玉）大会」開催のご案内

テーマ「子どもの豊かな成長をうながすピア・サポートとその広がり」

第14回総会・研究大会を埼玉にて開催いたします。

今大会では、昨年度に引き続き、ポスター発表を行うことに加え、「学校の活性化をはかるマルチレベルアプローチとピア・サポート」と題して、基調講演・実践発表・研究協議を行うなかで、みなさまと意見を交流しながら「子どもの豊かな成長をうながすピア・サポートとその広がり」の可能性を探ってまいります。

職場の方をはじめ、学生・院生の方など、お近くのみなさまにも是非お声がけください。多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

日 時 平成27年10月11日（日）・10月12日（祝・月）
 会 場 独立行政法人 国立女性教育会館 NVEC（ヌエック）
 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728（Tel0493-62-6711）
 主 催 日本ピア・サポート学会 主管 埼玉大会実行委員会
 後 援 日本学校教育相談学会・埼玉県教育委員会・
 富士見市教育委員会・埼玉新聞社（すべて申請中）

第14回総会・研究大会概プログラム

1日目・・・10月11日（日）

10 / 11 （日）	9:00	9:30～12:00	12:00～13:10	13:10～14:00	14:10～17:25
	受付	ワークショップ	昼食・休憩	総会	研究発表 （分科会）
				ポスター発表・展示	

※18:30～20:00【情報交換会】

2日目・・・10月12日（祝・月）

10 / 12 （祝・月）	8:45	9:00～10:00	10:00～11:00	11:00 ～11:15	11:15～12:15	12:15～12:30
	受付	【基調講演】 「学校の活性化をはかるマルチレベルアプローチとピア・サポート」 広島大学大学院 栗原 慎二	【実践発表】 岡山県、岐阜県、 埼玉県 小中高等学校	休 憩	【研究協議】 進行 コーディネーター 菱田 準子 （研修委員長） ・質疑 ・補足説明	閉会行事

プログラムの詳細

1日目 10月11日(日)

(1) ワークショップ 6部会 (9:30~12:00)

第1部会 台湾・マカオ海外研修 ～学びのシェアリングと日本での活用・発展を考える～

【対象】どなたでも参加できます。この海外研修に行かれた方の参加を歓迎します。

講師:西山 久子(福岡教育大学大学院教授)

本学会の海外研修では、訪問先の子どもへの支援や教育のあり方に新しい視点を心得、学校現場での実践活動に生かすことを目指しています。それと同時に、参加した仲間の交流からも多くを学ぶことができました。東アジアの諸地域でも、カウンセリング先進地域での学びを、自分たち独自の実践をするため、それぞれの地域で自分の国の状況に合わせて子どもへの支援力を高める努力を続けています。今回の研修では、台湾・マカオ研修でスクール・カウンセリングの常勤専門職の活躍をはじめ、子どもへの生き方教育としての総合学習など、多くの刺激を得ることができました。それらを共有し、理解を深め、さらには日本の学校適応援助に活用できる可能性を考えます。

第2部会 いじめ解決に生かす修復的アプローチの導入とその可能性

【対象】どなたでも参加できます。

講師:池島 徳大(奈良教育大学大学院教授)

いじめ問題は、子どもたちの安心・安全を脅かす問題として、世界のどの学校でも取り組まねばならない課題です。しかも、その解決には、教師が大きな役割を担っています。現在、わが国では、道徳教育のより一層の充実を図るため「道徳科」の新設が予定されています。いじめ問題の解決においては、子どもたちが自他ともに尊重し合う関係をつくり、また、人としての責務を果たしていく力を育成していくことは極めて重要です。

そこで、本部会では、今日のいじめ問題の解決に必要な知見を具体的に整理したうえで、近年、諸外国で取り組みはじめられている「修復的アプローチ(Restorative Approach)」の考え方を、わが国の道徳の時間の指導等に活用した試みを紹介し、その導入の可能性等について検討します。

第3部会 大学でのピア・サポート(医療・福祉・地域・企業等の情報交流含む)

【対象】どなたでも参加できます。

講師:春日井 敏之(立命館大学教授)

学会に参加する大学の関係者も増加するなか、小中高校とは異なる大学におけるピア・サポート活動の展開も少しずつ蓄積されてきました。そこでは、支援対象や支援課題に応じて求められる姿勢や技能などに関する研修、トレーニングなどが試行錯誤のなかで行われてきました。この点は、医療・福祉・企業等においても同様ではないでしょうか。この部会では、研究調査委員会として行ってきた大学におけるピア・サポート活動に関する国内外の実態調査の報告も行いながら、立命館大学やカナダのブリティッシュコロンビア大学における活動についても報告。高大連携のあり方なども含めて、情報交流、意見交換を図りたいと考えています。

第4部会 ピア・コーディネーターの果たす役割

【対象】ピア・サポートコーディネーターを対象としていますが、次年度にコーディネーターを受講したいと考えているトレーナーでも参加することができます。コーディネーターの資格更新ポイントになります。

講師 菱田 準子(大阪市立成南中学校校長)

ピア・サポートの活動も広がりを見せ、現場でのニーズが高まっている状況において、コーディネーターにはピア・サポートの実践者とネットワークを形成し、スーパーバイズする役割が求められています。そこで、本部会では、スーパーバイズのあり方について具体的な事例を通じて検討するとともに「トレーナー養成ワークショップ」の実施方法、さらには、倫理や遵守事項についての共通理解を図ります。さらに、これから求められるコーディネーターの役割について、ワールドカフェの手法を通して、アイデアを生み出し課題解決を図りましょう。

第5部会 論文の書き方講座

【対象】主にトレーナー、コーディネーターですが、ピア・サポートに関する論文を書こうとしている人であれば誰でもかまいません。トレーナー資格更新ポイントになります。

講師 栗原 慎二(広島大学大学院教授)

実践を発展させるには、理論に基づいた実践をすること、その実践を的確に評価することが必要です。的確な評価を行い、それを公開すれば、その実践はこれから実践をしようとする人たちや行き詰まって模索をしている人たちの指針となり、学会全体の財産となります。このWSでは、その評価の方法と、それを活用し論文化するための方法を学びます。論文の原案やアイデアを持参していただければその場で検討します。

第6部会 ピア・サポート入門 やってみようピア・サポート！

【対象】ピア・サポートを初めて学ぶ方。

講師 高野 利雄(栄光学園中高、宝仙学園中高スクールカウンセラー)

「ピア・サポートって何？」という初めての方に、考え方、指導法、実践事例、資格認定までの全体像をお伝えします。学校現場にあるさまざまな問題を解決する当事者は子どもたちで、教師のすることは子どもたちが解決していけるように指導と援助をすることです。このことは教育のパラダイムを変えるほどの大きな内容をふくんでいます。学習者は子どもたちにあることを思えば当然のことです。教師は何を心得る必要があるか、そのヒントがピア・サポート活動にあります。一緒にピア・サポートをはじめましょう。

(2) 総 会 (13:10~14:00)

平成26年度の学会活動報告と平成27年度活動計画案を提案し、今後の本学会の進むべき方向について、会員のみならずと共理解を図りたいと思います。

(3) 研究発表(分科会方式)(14:10~17:25)

1発表につき35分(発表20分+質疑応答及び座長からのコメント15分)×5展開、移動5分とします。分科会は9会場を用意し、そのうち1会場で、第12回大会から実施した「大学生部会」を開催します。発表要件やエントリーの方法は、後ページに記載しますのでご確認ください。

(4) ポスター発表(13:10~17:25)

研究や実践の発表・交流の場として、ポスター発表を開催します。ポスター掲示は、4時間15分としますが、発表者の在席責任時間を設定しています。

(5) 情報交換会(18:30~20:00)

大会1日目の夜に情報交換会を開催します。情報交換会には、どなたでも参加できます。事前に参加申込みと参加費のお振り込みをお願いします。

(場 所：独立行政法人 国立女性教育会館 食堂)

2日目 10月12日(祝・月)

(1) 基調講演

演 題：「学校の活性化をはかるマルチレベルアプローチとピア・サポート」

講 師：栗原 慎二(広島大学大学院教授)

(2) 実践発表

発表者：岡山県、岐阜県、埼玉県小中高等学校

(3) 研究協議

進 行・コーディネーター：菱田準子(研修委員長)

〈基調講演・実践発表・研究協議の企画趣旨〉

子どもたちの人格のよりよき発達を目指すとともに、社会の形成者として必要な資質を育てていくためには、「これさえやればよい」という教育活動はありません。こうしたなかで、現在、多面的な領域、および、支援レベルから子どもたちを育てていくことをめざした、「マルチレベルアプローチ」が国内外で注目されています。本研究協議では、「学校の活性化をはかるマルチレベルアプローチとピア・サポート」と題して、マルチレベルアプローチの提唱者である、広島大学大学院・栗原慎二教授による基調講演をはじめとし、学校現場からの実践発表や会場のみなさまのご意見などを交えながら「子どもの豊かな成長をうながすピア・サポートとその広がり」の可能性を探ってまいります。

参加費等のお支払い方法

- ※ 参加費等は、9月18日(金)までにお支払い下さい。
- ※ 参加費等につきましては、キャンセルされた場合でも返金は一切いたしません。

① 参加費

	会員参加費	非会員参加費	学生参加費
9/18までに支払った場合	8,000円	9,000円	4,000円
9/19以降(当日含)に支払った場合	9,000円	10,000円	5,000円

② 発表費

◇ 研究発表 (□ 頭発表)

会員 **無 料**
 会員でない方の連名発表費 (1発表ごと)

一般・内地留学生 5,000円

学生・院生 3,000円

※ 責任発表者の方は、会員でない方の連名発表費をご自身の事前参加費と一緒に振り込みください。

◇ ポスター発表

会員 **無 料**
 会員でない方の連名発表費 (1発表ごと)

一般・内地留学生 5,000円

学生・院生 3,000円

※ 責任発表者の方は、会員でない方の連名発表費をご自身の事前参加費と一緒に振り込みください。

③ その他の費用

◇ 情報交換会参加費 3,500円

◇ 宿泊費 (国立女性教育会館・1泊) 3,500円

【宿泊可能日10月10日(土)・11日(日)】

※ 国立女性教育会館の宿泊施設は、会館の都合により相部屋になる場合がございます。

※ その他の周辺宿泊施設 (別紙1参照) の、利用予約等につきましては、お手数をおかけしますが、各自でお願いします。

◇ 朝食代 870円

※ 朝食は事前の申込みが必要です。

◇ 昼食・夕食代は各自負担になります。

※ お支払いは、開催通知に同封した郵便振替でお願い致します。郵便局にて、同封の「払込取扱票」でお振込み下さい。振込手数料はご本人負担とさせていただきます。

* 【振込先】 □ 座記号番号 00190-4-765414

□ 座名義：(株) あどらいぶ企画室

※ 領収書については、当日、研修会場にてお渡し致します。
 (本学会様式による、研修費・情報交換会費の領収書)

事前参加申込み等の手続き

※ 申込締切 9月18日(金)

〈お申し込みは、別紙2の参加申込書にご記入のうえ、FAX (または郵送) にてお願いします。〉

※ 申込先 (株) あどらいぶ企画室 内日本ピア・サポート学会

『第14回「総会・研究(埼玉)大会」事務局』

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-6-7-403

Tel.03-3262-1603 FAX03-3262-1605

メール: adlive@dream.com 担当: 土田、武井

※ 尚、定員の150名(宿泊での参加)を超えた場合はご連絡させていただきますので、お早めにお申し込みください。

その他、ご不明な点は、上記事務局にお問い合わせください。

今後の通信予定

- (1) 総会・研究大会についての詳細は、随時、学会HPにアップします。
- (2) 総会プログラムおよび発表抄録集は、9月末頃までに、会員のみなさまにお送りする予定です。

＜ 交通 ア ク セ ス ＞

(1) 電車の場合（東武東上線武蔵嵐山駅下車 当施設まで徒歩12分程度）

- ① 池袋駅から東武東上線下りに乗り、急行で約60分。
東京メトロ有楽町・副都心線和光市駅で東武東上線に乗換ができます。
- ② タクシー利用：東武東上線武蔵嵐山駅から約5分。森林公園駅、小川町駅からは約15分。
- ③ 武蔵嵐山駅（西口ロータリー）から路線バス「せせらぎバスセンター行き（明覚駅経由）」（イーグルバス）を利用し、バス乗車時間約4分、バス停から徒歩約3分。（運賃200円）

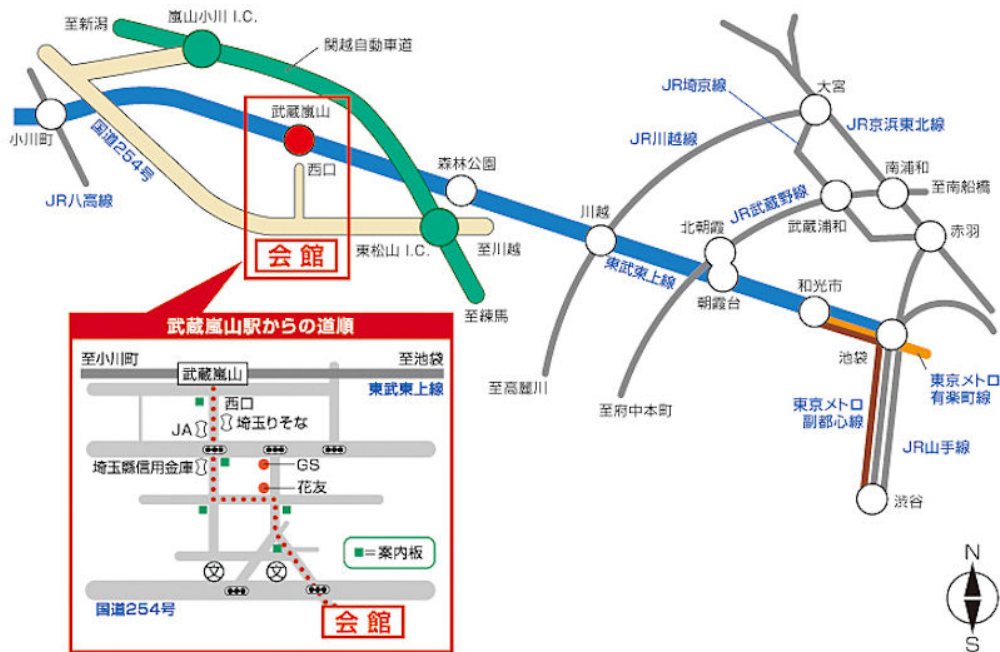
※ 武蔵嵐山駅から路線バスは、本数が少ないのでご注意ください。
（「せせらぎバスセンター」行き休日ダイヤ・7：18、8：13）

(2) 自動車の場合（関越自動車道・東松山I.Cで降りて15分程度）

- ① 関越自動車道練馬I.Cから乗った場合、東松山I.C（所要時間35分）で降りて、国道254号線を小川町方面に15分。
- ② 新潟方面から乗った場合は、嵐山小川I.Cで降り、国道254号線を東松山・川越方面に15分。

※ 周辺には、スーパーやコンビニ等もございますが、徒歩で移動すると片道15～20分程度かかります。

＜ 交通 案 内 図 ＞



＜ 施 設 案 内 ＞

